

主題や題材の内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】小学校第1学年（光村図書 版）

【主題名】「自分も相手もうれしくなるために(共に生きる)」 （4時間扱い）

使用教材：「ありがとうがいっぱい」「はしのうえのおおかみ」「ジャングルジム」「みんなみんなありがとう」

【養う道徳性 ※関連する内容項目等】

- ・身近にいる人に温かい心で接し、親切にし、相手からの温かな関りに対して素直に思いを伝えようとする道徳的実践意欲を養う。
- ・B 親切, 思いやり B 感謝 C 公正, 公平, 社会正義

【主な学習活動と留意点】

児童生徒の実態 ※肯定的な面やそれを更に伸ばしていこうとする観点からの積極的な捉え方  
ささやかではあるけれども相手のためにと考え行動する子ども。行動したいとは考えるがなかなかできないものが子ども。

働かせる見方・考え方：様々な事象を道徳的諸価値をもとに自己との関わりで広い視野から多面的・多角的に捉え、自己の人間としての生き方について考えること。

	学習活動	配慮点（各教科等，体験活動等との関連）
問題意識を共有す	<p>1 教材名「ありがとうがいっぱい」B 感謝（5月）(1)</p> <p>中心的な発問</p> <p>『ありがとう』を言われた時にどんな気持ちになりましたか。</p> <p>役割演技の工夫</p> <p>話し合いの工夫</p> <p>主題「自分も相手もうれしくなるためには？」の設定</p>	<p>ありがとうを言う立場、言われる立場になってそのときの気持ちを考えることで感謝を表すことのよさを実感できるようにする</p> <p>学級活動 (2) イ よりよい人間関係の形成</p>
自分自身との関わりで、多面的・多角的に考え合う	<p>2 教材名「はしのうえのおおかみ」B 思いやり, 親切(8月) (1)</p> <p>中心的な発問</p> <p>「うさぎくんを抱き上げてそっとうしろにおろしたときどんな気持ちでしたか。」</p> <p>役割演技の工夫</p> <p>話し合いの工夫</p>	<p>役割演技で実感した思いを語る中で親切にするとき清々しい気持ちを味わえることを実感できるようにする</p> <p>家庭 A 家族・家庭生活 (1) 自分の成長と家族・家庭生活</p>
	<p>3 教材名「ジャングルジム」C 公正, 公平, 社会正義(11月) (1)</p> <p>中心的な発問</p> <p>(⑤の絵を提示)「くまくんは、どんなことをさるさんやねこちゃんに伝えたのかな。そのときどんな気持ちだったかな。」</p> <p>役割演技の工夫</p> <p>話し合いの工夫</p>	<p>実際にくまくんになって役割演技をすることで、みんなと仲良くすることの大変さやよさを実感できるようにする</p>
生き方を考え深め合う	<p>4 教材名「みんなみんなありがとう」B 感謝（2月）(1)</p> <p>中心的な発問</p> <p>『「ひとりで大きくなったのではないですよ」という言葉を聞いてぼくはどんなことを考えたでしょう。』</p> <p>話し合いの工夫</p> <p>主題「自分も相手もうれしくなるためには？」を自己評価</p>	<p>「ぼく」に重ねて自分と関わってくれたひと、そのときのことを思い浮かべられるようにし、今の温かな思いを伝えたいという気持ちをもてるようにする</p> <p>学級活動 (2) イ よりよい人間関係の形成</p>

次学年へのつながり（児童生徒に願う姿）

相手のことを思いやり、進んで親切にすることができるようになる。